



石川県済生会金沢病院 〒920-0353 金沢市赤土町二 13-6 TEL (076) 266-1060 FAX (076) 266-1070
E-mail saiseikh-s@saiseikaikanazawa.jp URL <http://www.saiseikaikanazawa.jp/>

新年度に当たって

院長 荒木 勉



新型コロナ第4波の襲来が懸念される中、令和3年度が始まりました。昨年度は当院もコロナ対応に終始し、通常診療も大きな制限を受けました。患者さんや地域の方々をはじめ、登録医の先生方、連携する病院や医院、福祉施設等の方々には大変なご不便をお掛けしましたことを、この場をお借りしてお詫び申し上げたいと思います。

私自身もまだ就任2年目の新米院長であり、昨年度は就任直後からコロナ患者（軽症）の入院受入、発熱外来の設置、いしかわPCR検体採取センターへの協力等、コロナに振り回され続けた1年となってしまいました。コロナワクチンの有効性に期待しているところではありますが、おそらく今年度もコロナとの闘いは続くものと覚悟しております。

そんなコロナ禍の中、当院では新入職員32名をお迎えすることができました（写真）。数ある病院の中から当院を選んでくれた方々に感謝申し上げますとともに、一日でも早く仕事や職場に慣れて、自身の専門性を発揮され、与えられた役割を果たされることを期待しております。

当院は常勤医が30名と、決して大きな病院ではありませんが、①消化器内科・外科の内視鏡手術と緩和ケア、②整形外科・リハビリ科の脊椎・関節手術とリハビリ、③内科の糖尿病・心臓病・腎臓病・リウマチ診療と透析医療を3本柱とし、急性期医療から回復期医療、在宅医療との連携まで、切れ目のない医療活動を展開しております。

そして、本年度の当院の活動方針（次頁）としては、「地域医療への貢献」と「経営の健全化」を

大きな柱とし、引き続きコロナ対応、患者満足度の向上、地域連携の推進、職場環境の改善等を目標に、職員一丸となって取り組んでまいります。

今後とも、皆様方には、当院への変わらぬご指導、ご支援を賜りますよう、改めてお願い申し上げまして、甚だ簡単ではございますが、新年度に当たってのご挨拶とさせていただきます。



2021 年度 病院事業重点活動方針

1 職員総力を挙げた地域医療への貢献

1) 新型コロナウイルス感染症に 対する役割実践

- ① 感染症患者の積極的な受け入れ
- ② PCR 検体採取センター事業の受託運営
- ③ ワクチン接種基幹病院としての役割遂行
- ④ 行政機関と連携した、柔軟・迅速な対応
- ⑤ 地域住民への感染予防対策の啓発
- ⑥ 院内感染対策の周知徹底
- ⑦ 職員の自覚と責任ある行動

2) 病院機能の発揮と地域連携の推進

- ① 病床機能の発揮による地域包括ケアシステムの構築
- ② 紹介患者・救急搬送患者の原則受け入れ
- ③ 前方施設(高度急性期・急性期)後方施設(回復期・慢性期・在宅や介護関連施設)等との連携強化
- ④ 病床管理を徹底し患者の受け入れ促進
- ⑤ 高齢者への対応力の強化・充実(感染症、認知症、転倒転落、摂食機能等への対応)
- ⑥ 歯科医療機関との連携
- ⑦ 診療情報共有システム(ID-リンク)の有効活用
- ⑧ 地域住民や地域コミュニティへの保健予防活動の促進
- ⑨ 無料低額診療事業・などでしこプランのさらなる推進

2 経営の健全化への努力・強化

1) 病院利用者の増加と満足度向上 を目指して

- ① 安全・安心で優しく、思いやりのある医療の提供
- ② 病院情報の外部への積極的な発信・PR
- ③ 患者・家族の尊厳、人権、プライバシー等への配慮や丁寧な説明による意思決定の支援と同意の確認
- ④ 高齢者への対応力の強化・充実 <再掲>
- ⑤ 医療施設や介護施設との切れ目のない連携
- ⑥ 院内部署間・部門間での患者中心の連携・協力
- ⑦ 清潔で快適な療養環境の提供と計画的な改修
- ⑧ 患者サービスの向上及び病院のイメージアップに資する取り組み推進

2) 職員のやり甲斐と働きやすさが実感 できる職場づくり

- ① 病院理念と活動方針の共有
- ② 人材の確保・育成の取り組み強化
- ③ 計画的な年次有給休暇の取得徹底
- ④ 時間外勤務時間の管理徹底と 3-6 協定の遵守
- ⑤ 当直後の勤務免除の取得徹底
- ⑥ 勤務形態の多様化に伴い職員の積極的な登用
- ⑦ 労働安全衛生の推進と職員の健康管理の推進
- ⑧ ハラスメント防止やメンタルヘルス対策の推進
- ⑨ チーム医療の推進と他職種との連携協力体制の構築

3) 経営の健全化に向けた取り組み促進

- ① 職員への経営情報の発信と経営参画意識の向上
- ② 経営改善に向けた職員提案や意見の収集、企画、実践
- ③ 部署目標・行動計画・委員会活動目標の共有
- ④ 病床稼働率の向上(200 人/日)と新患の獲得
- ⑤ 医薬品・診療材料等の適時見直しによるコスト削減
- ⑥ 積極的な加算の取得と査定・返戻の防止
- ⑦ 経営状況を踏まえた計画的な機器等設備
- ⑧ 職員一人一人の節約意識の醸成と 5S 活動(整理・整頓・清掃・清潔・躰)の推進
- ⑨ 病院事業の継続計画(BCP)の策定



2021 年 4 月 病院長

『糖尿病・高血圧合併症外来』を開設しました

令和3年4月1日より糖尿病・高血圧合併症外来を開設いたしました。

『糖尿病・高血圧合併症外来』とは

糖尿病や高血圧、脂質異常症など、いわゆる生活習慣病は、特に症状がないのが特徴ですが、合併症を生じると、その後の生活に支障をきたすようになります。

合併症としては虚血性心疾患(心筋梗塞)、脳血管障害(脳梗塞など)、末梢動脈疾患(閉塞性動脈硬化症など)の動脈硬化症疾患や網膜症、腎症、神経障害などの糖尿病細小血管合併症などが挙げられます。

糖尿病や高血圧、脂質異常症の治療は合併症の発症や進展を予防することで、健康な人と変わらない人生を目指すことが目的となります。それ故、現時点での合併症の有無や程度を把握することは非常に重要と考えられますので、合併症の検査をお勧めしています。

受診をご希望の方は、かかりつけ医(担当医)にご相談ください。



糖尿病・高血圧合併症外来
QRコード

受診の仕方等、
詳しくは当院
ホームページ
をご覧ください。



摂食・嚥下チームからのお知らせ

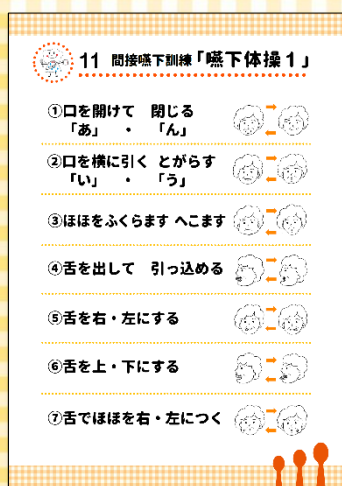
当院の摂食・嚥下チームでは、患者さんやご家族、地域の施設や医療機関への教育活動を行っております。今回はその一環として「摂食・嚥下ケアの手引き」を作成いたしました。当院ホームページに掲載されておりますので、是非ご活用ください。



摂食・嚥下チームQRコード



済生会金沢病院
公認キャラクター
とろみちゃん



バリアフリー社会推進賞 最優秀賞受賞

リハビリテーション部作業療法士 梶澤 様子さんが作製した自助具『onehand eliminator』が、石川県の「第22回バリアフリー社会推進賞」の福祉用具部門の最優秀賞を受賞し、3月18日(木)県庁にて表彰式が行われました。

右片麻痺で人工肛門を造設された方が、衣服や床を汚さずに片手で便を処理できるよう自助具を作製。ベルトで大腿部に固定した容器に袋をセットし、パイプ等を使用しながらストーマ袋に溜まった排泄物の処理を行うことで便破棄が自立できるようになりました。

この自助具のデモンストレーションには皮膚排泄ケア認定看護師・病棟看護師も同席し、動作方法を再確認したり何度も修正を加えながら作られました。結果、患者さんは自宅退院もできるようになり、自立支援や介助者の負担軽減を図る素晴らしい物が完成しました。

※バリアフリー社会推進賞は、石川県において先駆的、模範的なバリアフリー社会づくりへの取り組みや活動を行っている個人や団体に贈られます。



【作成した自助具の装着方法】



臨床研修医 修了証授与



左から、荒木院長、西村先生、田中先生、代田臨床研修部長

去る3月25日、研修医 田中 悠貴子先生、西村 俊亮先生の研修修了証交付式が執り行われました。

荒木院長より、「お二人で相談しながら、真摯に業務に取り組んでおられました。そんな若いお二人の姿を見て、自分達も昔はこうだったなあと思い出すこともありました。医師の高齢化が進む中、研修医を二人同時に受け入れられ、反対にこちらがたくさん刺激をもらいました。今後、研修を終えて一般の病院等で勤務することになると思いますが、その時はこの済生会病院も候補に入れて頂けると大変嬉しく思います。」と感謝の意が述べられました。

田中先生、西村先生の今後のご活躍を祈念しております。



新任医師紹介

内科 鈴木 信博 (すずき のぶひろ)

4月より赴任しました腎・リウマチ内科の鈴木信博と申します。腎不全や透析治療、リウマチ・膠原病、一般内科と幅広く診療しております。よろしくお願い致します。

